

平成30年度 事務事業評価シート (H29実績評価)

事務事業名		2442	橋梁長寿命化事業	
担当所属		451000	土木部 道路維持課	
予算科目	H30	1-080204	一般会計 - 土木費・道路橋梁費・橋梁維持費	
	H29	1-080204	一般会計 - 土木費・道路橋梁費・橋梁維持費	
施策	基本構想	02	2 あらゆる世代が快適に暮らせる安心都市づくり	
	政策	03	3 快適に暮らせる生活基盤づくり	
	施策	08	8 道路網の整備	
	基本施策	03	(3) 橋梁の適正な維持管理	
事業類型	(ハード系) 施設維持管理		評価対象	■
副施策	1	-	2	-
			実計対象	■
			経費区分	施策経費
			支出区分	負担金
				補助金・交付金
				無
				一部

事務事業の概要 記入者 廣瀬 勇 内線 20-1174(内3221)

事業期間 毎年 年度～ 年度 対象 市民 長期間安全に通行できる橋梁の維持管理

法令 有 道路法施行規則第4条の5の5 例規

関連計画等 筑西市橋梁長寿命化修繕計画

事業の目的
この事業によって対象をどのようにしたいのか
橋梁のより計画的な維持管理を行い、限られた財源の中で効率的に橋梁を維持していくための取り組みが不可欠であり、コスト削減のため従来の「対症療法型」から、損傷が大きくなる前に予防的な対策を行う「予防保全型」へ転換し、橋梁の長寿命化を図る。

具体的な事務事業の内容、手法、手順

全体事業概要
橋梁を良好な状態に保つため、道路法施行規則に基づく定期点検の実施及び日常的な維持管理として、パトロールや清掃などを徹底するとともに、「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、「詳細調査」、「詳細設計」を実施し、計画的な修繕・補強工事を行っていく。防災・安全交付金55%が見込まれている。

29年度事業実績
委託にて橋梁定期点検314橋を実施するとともに、長寿命化計画により、東榎生橋撤去工事、深見橋撤去工事（第2期）、大橋補修工事、下岡橋補修設計委託、外塚橋補修設計委託を実施した。

事業費の内訳 (千円)

		総事業費	平成28年度 実績		平成29年度 実績		平成30年度 予算	
事業費	財源内訳	国庫支出金	0	22,000	110,307	118,525		
		県支出金	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0		
		差引：一般財源	0	35,054	98,226	109,475		
事業費計(A)		0	57,054	208,533	228,000			
人件費	従事職員数(人) [正規：臨時嘱託]	0.75	0.00	1.40	0.00			
	人件費(B) [正規：臨時嘱託]	6,155	0	11,414	0			
フルコスト(C) = (A) + (B)			63,209	219,947				

指標の推移

活動指標 1	指標名	橋梁長寿命化のため、5年毎の橋梁法定点検の実施				単位	橋
	目標値	310	目標年度		目指す方向	→	
	考え方・式等	道路法施行規則に基づき点検要領に沿って実施する					
	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	達成率(%)	平成30年度見込	
実績	17	336	314	101.3	205		
活動指標 2	指標名	橋梁長寿命化のため、点検結果・修繕計画に基づく橋梁修繕の実施				単位	橋
	目標値	5	目標年度		目指す方向	↑	
	考え方・式等	点検結果を考慮しつつも対症療法型修繕から予防保全型修繕への転換を図る					
	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	達成率(%)	平成30年度見込	
実績	0	2	3	60.0	2		
成果指標 3	指標名	橋梁長寿命化のため、市内橋梁の計画的な維持管理				単位	橋
	目標値	315	目標年度		目指す方向	↑	
	考え方・式等	全橋梁の5年毎の法定点検を年次計画で実施又修繕を予防保全型に移行することによりコスト削減効果を図る					
	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	達成率(%)	平成30年度見込	
実績	17	338	317	100.6	207		
目標に対する達成状況の評価	法定点検については目標値を上回る実施数となったが、修繕については交付金の交付決定減により、修繕目標数を下回る結果となった。						

状況の変化等

社会情勢の変化	橋梁の法定点検が義務化後浸透したことで、診断区分Ⅲ以下の橋梁修繕についての交付金事業採択要件も年々厳しくなっており、修繕費の財源確保や予防保全型修繕への転換が全国的にみても課題となっている。			
市民等からの意見・要望				
市以外での類似事業	○ 無	● 有	→	■ 国 ■ 県 ■ 民間 ■ その他
	実施機関名	橋梁管理者	事業名	長寿命化修繕

結果評価

評価の観点	
評価内容	評価結果
目的の妥当性	
1. 事務事業の目的は、総合計画の施策目標に合致しているか。	合致している
2. 市が主体的に行うべき役割の事業か。	行うべき事業である
3. 市民ニーズ等を反映しているか。	ある程度反映している
4. 特定の個人や団体に受益が偏っていないか。	該当しない
5. 市民との役割分担は適切か。	該当しない
事業の有効性	
1. 類似事業との再編や統合はできないか。	できない
2. 成果を向上させる余地はないか。	ある (少しはある)
3. 廃止・休止した場合の影響はあるか。	影響がある (大)
事業の効率性	
1. 成果を落とさずに事業費を削減できる余地はないか。	不明
2. 成果を落とさずに人件費を削減できる余地はないか。	ない
3. 受益者の費用負担や受益機会に適正化の余地はないか。	該当しない
事業の現状・担当コメント (評価に対する課題等)	5年毎の法定点検(1巡目)の終了に伴い、点検数の平準化また現行の橋梁長寿命化修繕計画を見直し、計画的な維持管理を図る。

課長評価

課長意見	橋梁の点検結果により修繕や補強工事に費用負担増が見込まれるほか、従事職員の人員不足も課題の一つである。 【進捗状況：順調である】
来年度の事業の方向性	拡充
改善策	橋梁点検及び修繕等に係る設計積算の担当職員の増員が必要である。
内容	
改善の期間	通年